

### 市長コラム④ ひとことめし 一言主



浅見 宣義

「職員の大規模または大型特殊の運転免許」

もう夏になりました。降雪が格別多かった今年の冬が懐かしく思い出されますね。私は、2月の市長選挙期間中、雪が真横に降る中、選挙カーを走らせていました。大変な降雪だと思いつつ、北部へ行くことと意外と公道が空いていました。

私が小中学生の頃は、余呉地域の北の方では降雪のため孤立した集落が出て、自衛隊が食料を持って出勤したと記憶しています。そんな折には、当然車で走行することはできなかったと思います。

もちろん、水の出る融雪装置が広く設置されたことも公道が空いていた理由の一つです。しかしもう一つは、市の委託業者や市の職員が、除雪用の大型車両(大型ダンプカー等)または大型特殊車両(除雪ドーザー等)で、除雪作業をしたのが理由です。

職員は降雪があれば、朝の通勤ラッシュに間に合うように公道を空けるため、夜中の2時から朝方の7

時の間をめどに、眠い目をこすりながら除雪作業に従事するのです。市の職員の多くは、除雪車の運転をするために、大型または大型特殊の免許を有しています。このような免許は通常使用することもないため、私を含め一般の人はあまり取得していませんが、職員は市に就職後、通常業務のほかに練習をして取得しています。また、職員は講習を受けて、労働安全衛生法による技能講習修了証も受けています。私は市長になってからこうした詳しい事情を知って、頭が下がる思いです。



▲除雪車

豪雪の年でも、朝早くから公道を利用できるのは、こうした職員の陰の努力があることもぜひ知っていただきたいと思っています。

### 市立病院通信(135)

## お元気ですか



市立長浜病院  
リハビリテーション科部長  
江藤 謙司

### がんのリハビリテーションについて

がんは、国民の二人に一人が一生のうちで患う病気といわれています。医療の進歩により、根治はできなくとも生存期間が延びており、がんは不治の病だった時代から、共存する時代へと変わってきています。

その中で、がんそのものや、その治療として手術や抗がん剤の使用、放射線治療などをしていく過程で生じる体の障害にも目を向け、生活の質を向上させる必要があります。そこで、リハビリテーション(以下リハビリ)もがん治療の一つと考えられるようになってきました。

がんのリハビリは、身体機能の低下を予防するため、がんと診断された直後から開始します。例えば、乳がんの手術後には肩関節のこわばりや腕の腫れ、

頸部の手術後には飲み込みや発声がしにくくなることがあります。他にも、胸を開ける手術後の呼吸機能の低下、抗がん剤治療による倦怠感から全身の筋力低下などが起こることもあります。そういった治療後から、最大限機能を回復できるようにリハビリを行います。

また、機能の障害や能力の低下が進んでも、自働具の使用や動作のコツを指導するなど、機能や能力を維持できるようにします。他にも、姿勢の指導、温熱や呼吸介助、補装具を使用することなどで、痛みや息苦しさを、手足の腫れなどの症状を緩和したり、床ずれを予防したりします。そうして最期の時まで、患者さんの意思を尊重し、できるだけ質の高い生活を送れるようにします。

抗がん剤を使用する場合、使用できるかどうかの基準のひとつに「日常生活動作の自立度」があります。治療を続けるうえでも、リハビリを行い、日常生活の動作を維持することは大切になってきます。

がんと診断されたら、リハビリを行うことを、ぜひ頭に留めておいてください。

市立長浜病院  
☎68・2300(代表)

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、政策デザイン課(☎65-6504)までお知らせください。

# ながはま 見聞録

## Nagahama Hotnews

### 5月20日(金) 挨拶ができる園児の成長を願って

北保育園の5歳児54人が市役所を訪問し、市長が北保育園のあいさつ標語を選定しました。これは、挨拶ができる園児に成長してほしいと、毎年保護者から募った標語を選定するものです。北保育園のあいさつ標語は「あいさつは いつもげんきでにっこりと!!」に決定。標語は横断幕として1年間園に飾られる予定です。標語選定のお礼として、園児たちから市長へ折り紙で作った花束等が贈られました。



### 5月22日(日) 澄んだ空のもとで茶摘み

紅葉で有名な鶏足寺付近の亀山茶畑で、こだかみ茶収穫祭「茶摘みの集い」が3年ぶりに開催されました。こだかみ茶は最澄によってもたらされた歴史と、地域で守られてきた在来品種という稀少な物語をもつお茶です。

当日は天候にも恵まれ、地元の高時小学校の児童やその保護者、県内からの一般参加者など約160人が参加し、澄んだ空気のもと茶摘みを楽しんでいました。



### 6月4日(土) 楽しみながら城下町の魅力にふれました

長浜まちなか一帯で、近世城下町ふるさとまつりが開催されました。

曳山博物館前広場の特設ステージでは、伊賀之忍者衆と尾張烏忍衆による演舞や、人気声優の山口勝平さんや天野ユウさんによるアテレコライブなどが行われました。

そのほかにも特産品が並ぶ楽市楽座や城下町遺産めぐりなども行われ、大勢の観光客でにぎわっていました。



### 6月5日(日) 選手たちが自己ベストに挑戦

浅井ふれあいグラウンドで、長浜市陸上競技大会が開催されました。今年で34回目を迎える本大会に、小学4年生から一般参加まであわせて485人が参加。

100m走などのトラック競技、走り幅跳びや砲丸投げなどのフィールド競技が行われました。

選手たちは自己ベストをめざして全力で競技に臨んでいました。

